

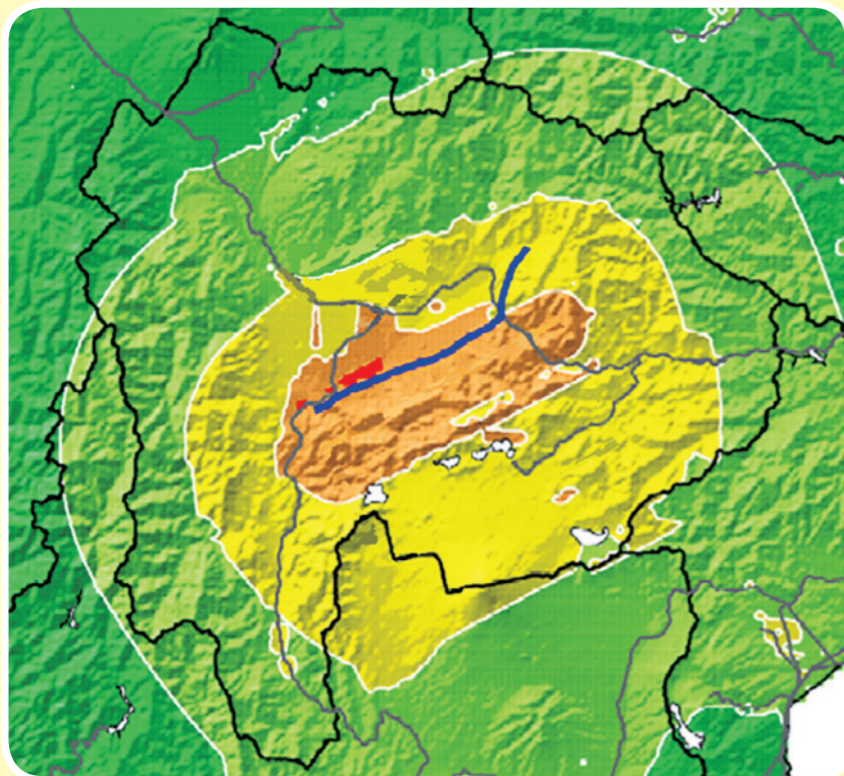


# 他人ごとではない!

身近なところで起こりうる...



### 曽根丘陵断層帯の予測震度分布図



断層 (Blue line)  
 鉄道 (Black line with cross-ticks)  
 県境 (Black line)



## 曽根丘陵断層帯

わたしたちの住む地域にも  
**「曽根丘陵断層帯」**

という活断層の一部があります。  
将来この活断層で地震が発生する可能性は

地震の規模：**マグニチュード7.3程度**

地震発生確率：**30年以内に1%\***



※数千年という活動周期のなかで  
直近30年以内に起こる確率です。

であり、その強さは熊本地震や阪神・淡路大震災と同規模です！  
耐震の建物でもマグニチュード7クラスの地震が来ると倒壊  
する可能性があります。

☆活断層とは…… 将来も活動する可能性のある断層。  
つまり震源となりうる断層です。

参考資料：政府の地震調査研究推進本部

地震による直接の被害だけでなく、揺れによって弱くなった地盤に余震や雨が続き、土砂災害の発生も予想されます。

万が一、次のような**前兆**を確認したら**すぐに避難**をしましょう。



前兆

- ・小石がぱらぱら落ちてくる
- ・斜面に割れ目ができる
- ・斜面から水が湧き出す



### がけ崩れ

前兆

- ・地面にひび割れができる
- ・地面の一部が陥没・隆起する
- ・池や沼の水かさ急に変わる



### 地すべり

前兆

- ・山鳴りがする
- ・雨が続けているのに、川の水位が下がる
- ・川が濁り、流木が流れる



### 土石流

写真提供：災害写真データベース

この機会に自分たちの住んでいる地域の特性を改めて確認してみるといいね!

